

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性
(平成23年2月時点)

事業番号	⑥-1	事業名	堺まつり（(社)堺観光コンベンション協会への補助事業）			
所管	産業振興	局	観光	部	観光企画	課
1. みんなの審査会でいただいた主な意見等						
<p>(検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁徳陵古墳の世界遺産登録の動きも踏まえ、単なる地方のイベントとしてではなく、新たな方向性を検討すべき。 ・マスコミに対するこれまでの取り上げられ方が、弱かったのではないか。堺まつりのキャラクターであるザビエコを市民の人がどれだけ知っているのか。世界民族芸能祭を開催した素晴らしい実績もあり、その様なソフト事業の蓄積をする方が、一過性で終わらずにいいのではないか。 ・目標値はもっと高めに100万人と設定すべきであり、そのことにより、より様々な事業内容を工夫できるのではないか。 ・御堂筋パレードが取り止めになっている現状、(堺にとっては)今が新たな方向性を検討するチャンスだと考える。 ・連帯感の醸成などについては、他のまつりや庁内他部局との連携を図ってはどうか。 ・提案、企画募集など市民参加型にするほか、市民が本気で携わるイベントにすれば、市外からお客も見に来てくれる。 <p>(市民審査員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的、内容の分かるフローチャートによる重要性、担当部門が記したマニュアルがあれば、祭りの流れがもっとよく理解できる。 ・市民に祭りの意識をもっと持ってもらうようPRの強化。 ・パレードの内容をもっと充実して堺と友好ある他の国々からの参加を考えてみる。 ・芸能関係（ミュージシャン等）とのタイアップにより、祭りの日のイベントをコラボレーションすれば、PRが出来、集客効果も高まるのではないか。 ・成果把握は毎年実施すべきと考える。その際、集客以外の活動指標を盛り込んだ方がよいと思う。参加者へのアンケート調査も必要ではないか。⇒次回への反映。 ・一点に集中すべき。今のような分散型より、目的を絞って内容を充実させるべきである。 ・意図的な話題づくりが必要と感じる。単純にTVやラジオで告知するだけでは集客という点で弱いのではないか。 						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	1人	2人	12人	1人	0人	
検討委員(参考)	0人	0人	5人	0人	0人	
2. 市の方向性	改善(平成23年度予算に反映もしくは平成22年度中に見直しに着手)					
3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容						
まつりへの全市域からの集客や参加、魅力・話題の創出と市外集客の促進を柱として、平成23年度の第38回堺まつりでは部分的な見直しを図り、24年度に全面的な見直しを反映したまつりを実施する。その一環として有識者等の意見を聴取する「堺まつり見直し懇話会」を設置する。						
4. 平成23年度予算への反映状況						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費(※)	62,640千円	94,286千円	31,646千円			
5. 今後の取組予定						
平成22年度下半期	「堺まつり見直し懇話会」を設置し、堺まつりのあり方の検討に着手する。					
平成23年度	部分的な見直しによる第38回堺まつりを開催する。 第39回(平成24年度)堺まつりの検討を行う。					
平成24年度以降	全面的な見直しによる第39回堺まつりを開催する。					

※事業費 平成23年度査定額には(社)堺観光コンベンション協会の人件費の堺まつり事業への案分額(27,538千円)を含む。